

第2章 各国の経済・業界状況

第2章 各国の経済・業界状況

2.1 アジア4か国の経済状況

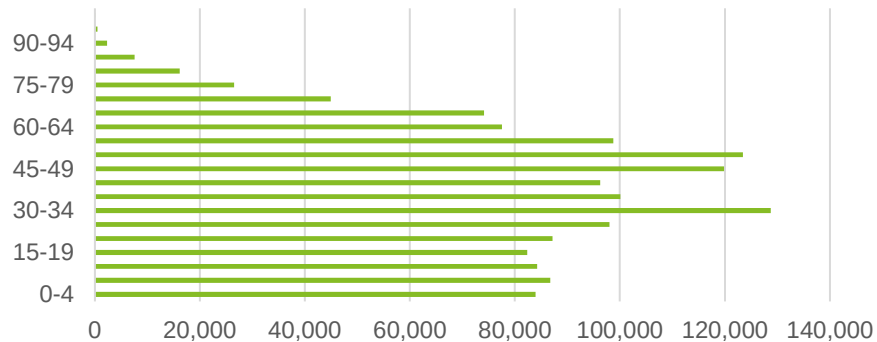
2.1.1 年齢別人口

4か国の年齢別人口分布はつぼ型をしている。今後の高齢化の進展による生産年齢人口の減少が見込まれているため、労働力の減少を補うために、機械化や自動化などの対策が必要となっていく状況になる

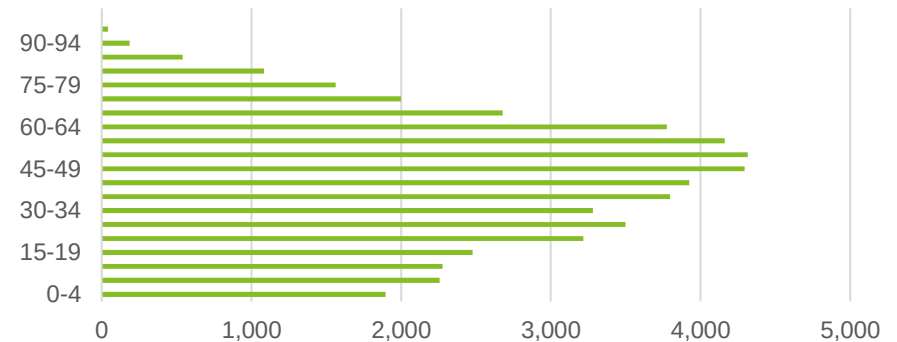
年齢別人口

単位: 千人

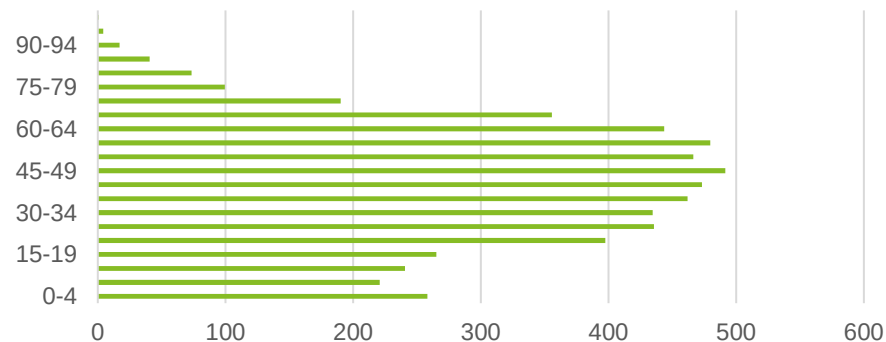
中国年齢別人口(2020年)



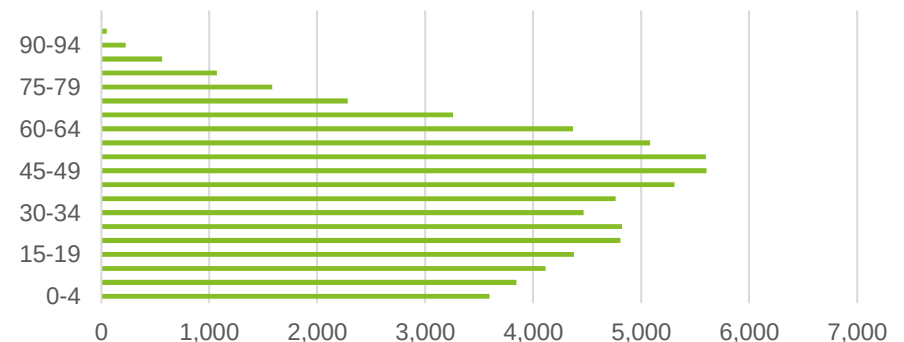
韓国年齢別人口(2020年)



シンガポール年齢別人口(2020年)



タイ年齢別人口(2020年)



出所: WorldPopulationProspects2019

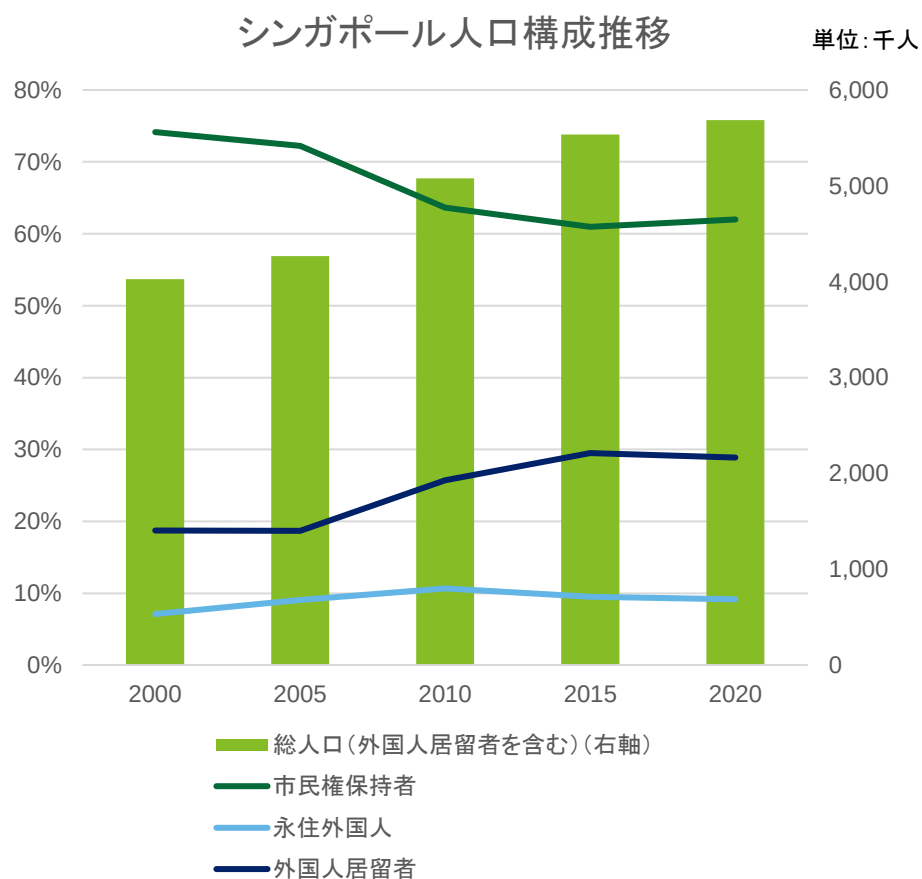
第2章 各国の経済・業界状況

2.1 アジア4か国の経済状況

2.1.1 年齢別人口

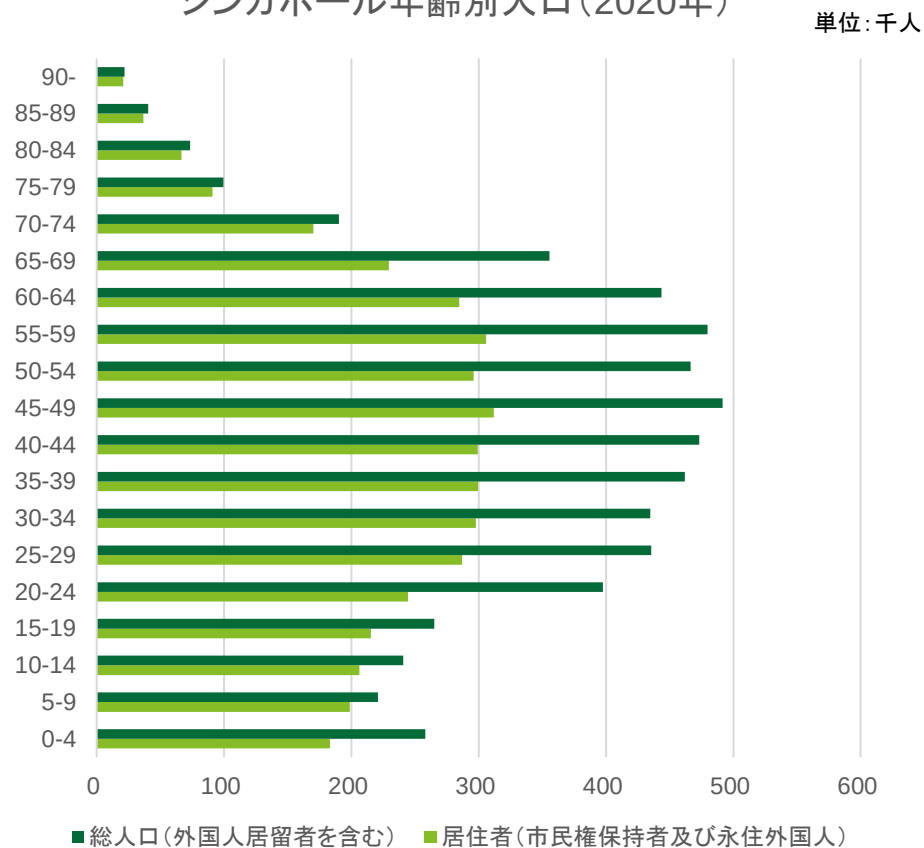
労働力の減少に対して生産性向上を図るアプローチに加え、シンガポールのように、労働力を外部から確保するというアプローチもある。シンガポールでは総人口に占める外国人居留者の割合が約3割に達し、特に生産年齢人口における外国人居留者の割合が高い

シンガポール人口構成



出所: Department of Statistics Singapore

シンガポール年齢別人口 (2020年)



出所: World Population Prospects 2019, Department of Statistics Singapore

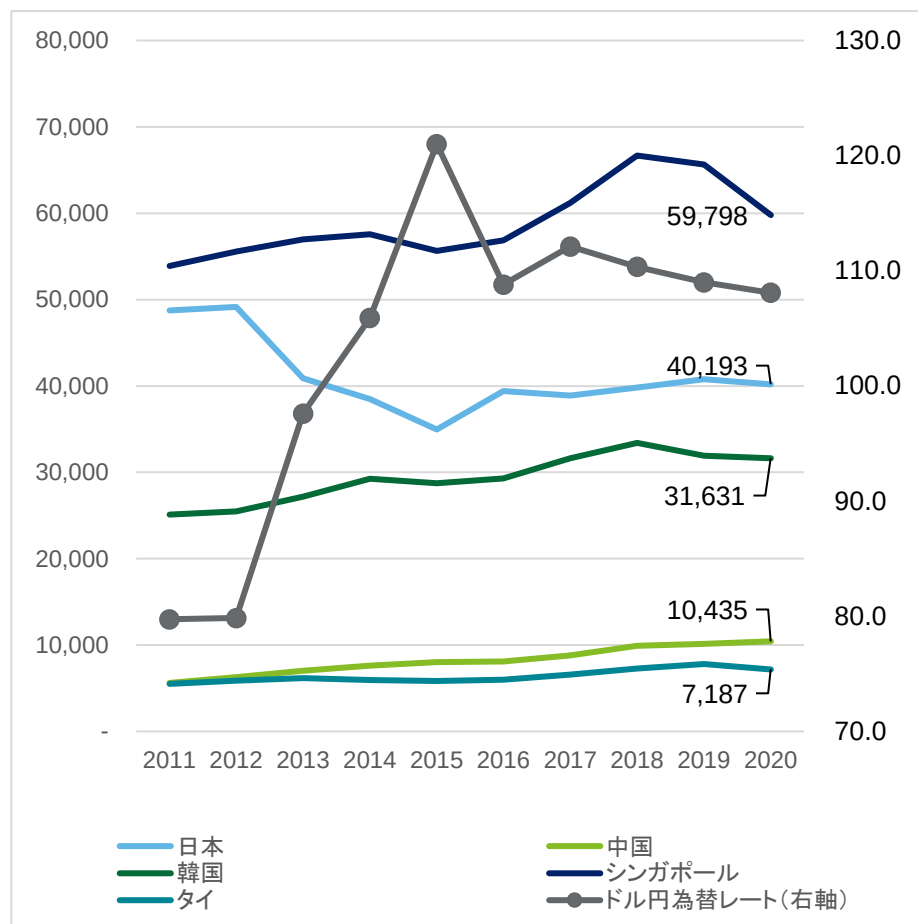
第2章 各国の経済・業界状況

2.1 アジア4か国の経済状況

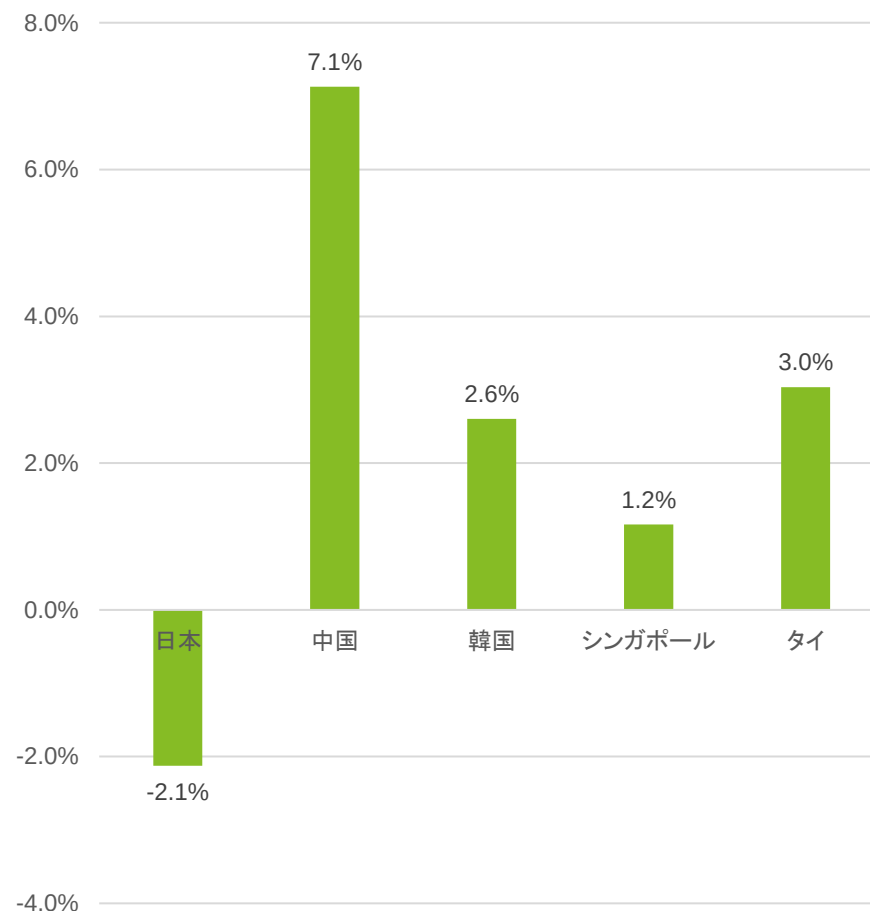
2.1.2 1人当たりGDP

日本の1人当たりGDPは円がドルに対して減価したこともあり、1人当たりGDPは10年間でマイナス成長となっている。一方で、中国やタイ、韓国は成長してきており、特に韓国との差が縮まってきている

一人当たりGDP(USD)とドル円為替レート



一人当たりGDPの2011年~2020年の年平均成長率



出所: World Development Indicators、Global Economic Monitor

第2章 各国の経済・業界状況

2.2 日本

2.2.1 食品加工業の生産性

飲料や食品加工といった業種分類であれば、十分な企業データ数を確保できる。例えば製茶業、コーヒー製造業は掲載社数が限定的であり、統計情報として偏りが発生する。また、12業種のうち、野菜漬物やめん類など、Capital IQの業種分類上適切に分類されない業種が存在する。売上総利益や有形固定資産額が非開示な企業も多い。

国内企業データの社数

	収益性指標	生産性指標			企業規模	
社数	付加価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	売上高 (百万円)	従業員数
全社(飲料+食品加工)	3,048	7,277	3,021	2,948	7,537	7,537
飲料	172	431	171	166	457	457
食品加工	2,861	6,800	2,844	2,782	7,080	7,080
12業種全体	1,898	4,553	1,890	1,853	4,720	4,720
しょう油・食用アミノ酸製造業	114	280	114	113	293	293
パン製造業	219	574	219	218	600	600
ビスケット類・干菓子製造業	70	168	70	70	176	176
清涼飲料製造業	92	176	91	87	195	195
製茶業、コーヒー製造業	7	23	7	7	24	24
野菜缶詰・缶詰・農産保存食料品製造業	1,316	3,171	1,309	1,280	3,266	3,266
冷凍調理食品製造業	80	161	80	78	166	166

収益性指標

- 付加価値率: $\text{粗利益} \div \text{売上高}$
収益性を計る

生産性指標

- 1人当たり売上高
労働者1人が生み出す収益の効率
- 労働装備率: $1 \text{人当たり有形固定資産額} \div \text{労働集約から機械化への進捗}$
労働集約から機械化への進捗を計る
- 資本生産性: $\text{付加価値額} \div \text{有形固定資産額}$
機械が生み出す収益の効率

企業規模

- 売上高
業界の平均的な企業の規模を計る
- 従業員数
業界の平均的な企業の規模を計る

出所: Capital IQをもとにDTFA作成

第2章 各国の経済・業界状況

2.2 日本

2.2.1 食品加工業の生産性

12業種のうちデータを入手できる7業種を比較した。特徴的なものは清涼飲料で、企業規模が大きく、機械化も進んでいるものの、資本生産性が低い。ロス率削減など、機械がもたらす付加価値の改善の余地があると推察される。

国内企業の業種別主要指標: 平均値

	収益性 指標	生産性指標			企業規模	
平均	付加価値 率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	売上高 (百万円)	従業員数
全社	21%	89	17	1.40	9,250	172
飲料	29%	80	20	1.06	34,956	573
食品加工	21%	89	17	1.43	7,621	146
12業種全体	23%	66	14	1.40	7,051	155
しょう油・食用アミノ酸製造業	23%	50	17	1.05	5,546	106
パン製造業	30%	37	11	1.21	6,229	181
ビスケット類・干菓子製造業	26%	31	16	1.09	4,274	152
清涼飲料製造業	24%	75	19	1.05	29,814	1,074
製茶業、コーヒー製造業	30%	94	10	1.71	10,110	174
野菜缶詰・缶詰・農産保存食料品製造業	22%	73	14	1.51	6,221	128
冷凍調理食品製造業	18%	62	15	1.23	6,529	161

※赤字は偏差値52以上、青字は偏差値48以下の指標

出所: Capital IQをもとにDTFA作成

しょう油: 労働装備率が比較的高く、機械化が進んでいる一方で、資本生産性が最も低く、導入した設備がもたらす付加価値に改善の余地がある。

パン: 生産性指標3項目すべてにおいて生産性が低いものの、付加価値率は高い。

ビスケット: 1人当たり売上高が最も低い。労働装備率は比較的高く機械化が進んでいる一方で、資本生産性が低いことが労働生産性の低さの要因。

清涼飲料: 企業規模が大きく資本が集約されており、設備投資が積極的になされて労働装備率が高い。一方で、資本生産性が低く、導入した機械の有効活用の余地がある。

茶、コーヒー: 清涼飲料と比べると企業規模が小さいものの、食品加工の他業種と比べれば企業規模は大きい。設備投資が少なく労働装備率が最も低いものの、資本生産性が高い。人手による作業が多い一方で、それ自体の付加価値が高く、労働生産性も高い。付加価値率も高く、魅力的な産業。

缶詰: 飲料を除けば資本生産性が最も高く、労働生産性が高い一因となっている。

冷凍食品: 生産性指標3項目はいずれも中位にある。付加価値率は最も低く、競争の厳しさ、消費者や流通との力関係の弱さを示唆する。

第2章 各国の経済・業界状況

2.2 日本

2.2.1 食品加工業の生産性

日本の食品加工業界は、アジア4か国と比べると売上高が大きく、企業規模の大きい会社が多い。生産性指標は3つの指標いずれもアジア4か国よりも秀でている。各国の平均値を比較する範囲では、日本の食品加工業界の生産性は競争力がある。なお、付加価値率は中国やシンガポールに劣るものの、韓国やタイよりも良い。

食品加工業界の日本とアジア4か国比較

	収益性指標	生産性指標			企業規模	
平均	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	売上高 (百万円)	従業員数
日本	21.0%	89.1	16.7	1.43	7,621	146
中国	22.5%	6.7	0.2	0.78	71	477
韓国	18.9%	8.0	2.4	1.19	450	352
タイ	18.8%	2.2	0.1	0.47	204	1,372
シンガポール	25.1%	25.6	0.1	0.59	681	4,322

出所: Capital IQをもとにDTFA作成

企業規模

売上高がアジア4か国と比べて非常に大きく、企業規模の大きい会社がサンプルに多く含まれる。日本国内では中小企業が多いと認識されるが、アジア4か国比ではその限りではない。

逆に、従業員数はアジア4か国と比べて少ない。少人数で効率的に事業経営されていると考えられる。

収益性指標

生産性が高い一方で、付加価値率はシンガポールや中国よりも低く、中位に位置する。

生産性指標

1人当たり売上高、労働装備率、資本生産性といずれの生産性指標もアジア4か国と比べて最も秀でている。1人当たり売上高や労働装備率は物価に連動するため、1人当たりGDPが相対的に高い日本に有利な状況ではあるが、それを差し引いても日本の生産性が最も高い。

第2章 各国の経済・業界状況

2.2 日本

2.2.1 食品加工業の生産性

日本の飲料業界は、売上高がアジア4か国と比べて圧倒的に大きく、企業規模の大きい会社を集約されている。企業規模の大きさを活かし、機械化を進め労働装備率は非常に高く、1人当たり売上高もアジア4か国と比べて良好である。ただし、資本生産性には改善の余地があるとみられる。企業規模の大きさに反して、付加価値率はアジア4か国で最も低い。

飲料業界の日本とアジア4か国比較

	収益性指標	生産性指標			企業規模	
平均	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働装備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
日本	29.0%	80.0	20.4	1.06	34,956	573
中国	51.3%	7.3	1.6	1.77	104	772
韓国	37.0%	13.3	6.1	0.61	305	537
タイ	40.3%	1.9	0.1	0.58	231	1,204
シンガポール	#N/A	3.4	#N/A	#N/A	200	157

出所: Capital IQをもとにDTFA作成

企業規模

売上高がアジア4か国と比べて100倍以上と圧倒的に大きく、業界が集約されて企業規模の大きい会社が多い。

逆に、従業員数はアジア4か国と比べて中位に位置する。企業規模の大きさを踏まえれば、少人数で効率的に事業経営されていると考えられる。

収益性指標

業界が集約されて企業規模の大きい会社が多いため、同業他社との競争関係や、原材料調達や小売・消費者との力関係といった競争環境が優位にありうる状況と推察される。しかし、付加価値率はデータのとれないシンガポールを除いて最も低い。アジア4か国と比べて厳しい業界環境にある。

生産性指標

1人当たり売上高、労働装備率はアジア4か国と比べて最も秀でている。特に労働装備率が高く、機械化は相対的に進んでいると考えられる。

資本生産性は中国よりも低い。中国が異常値と考える。機械化が進まず労働集約的な状況においては、資本生産性の分母(有形固定資産)が少なく、数値上資本生産性が高く見えている。ただし、日本の食品加工業の平均値1.43よりは低く、改善の余地があるとみられる。

第2章 各国の経済・業界状況

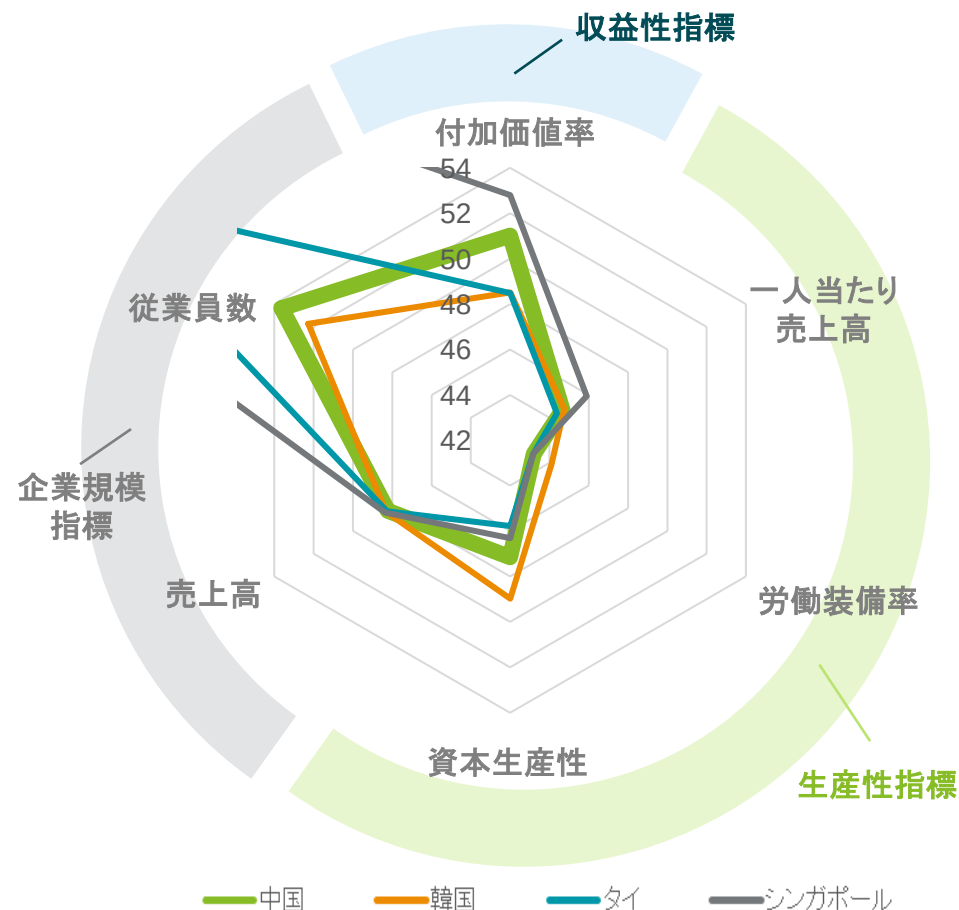
2.3 中国

2.3.1 食品加工業の生産性

中国の食品加工メーカーは中小企業が多い。各種生産性の指標はタイと韓国の上に位置し、業界の発展度合いに応じて生産性指標が改善していく様子がみられる。

食品加工業の主要指標

偏差値のレーダーチャート



出所: Capital IQをもとにDTFA作成

中国の食品加工業界

売上高が4か国で最も小さく、企業規模の小さい会社がサンプルに多く含まれる。中小企業が多いため、従業員数は韓国に次いで2番目に少ない。

生産性と収益性

1人当たり売上高はタイと韓国の上に位置する。労働生産性を構成する労働設備率も資本生産性もタイと韓国の上に位置しており、いずれの指標も業界の成熟とともに段階的に改善されていくものと考えられる。

付加価値率はシンガポールに次いで2位で、生産性の指標が高い韓国よりも付加価値率が高い。企業規模が小さく交渉力が弱いと推察されるなか、健闘している。消費者や流通との力関係など業界構造上の特徴が背景にあるものと考ええる。

偏差値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働設備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
中国	51.0	44.7	43.2	47.1	48.2	53.6
韓国	48.5	44.8	44.1	49.0	48.3	52.3
タイ	48.5	44.4	43.2	45.8	48.3	63.5
シンガポール	52.8	45.9	43.2	46.3	48.4	95.9

平均値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働設備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
日本	21.0%	89.1	16.7	1.43	7,621	146
中国	22.5%	6.7	0.2	0.78	71	477
韓国	18.9%	8.0	2.4	1.19	450	352
タイ	18.8%	2.2	0.1	0.47	204	1,372
シンガポール	25.1%	25.6	0.1	0.59	681	4,322

第2章 各国の経済・業界状況

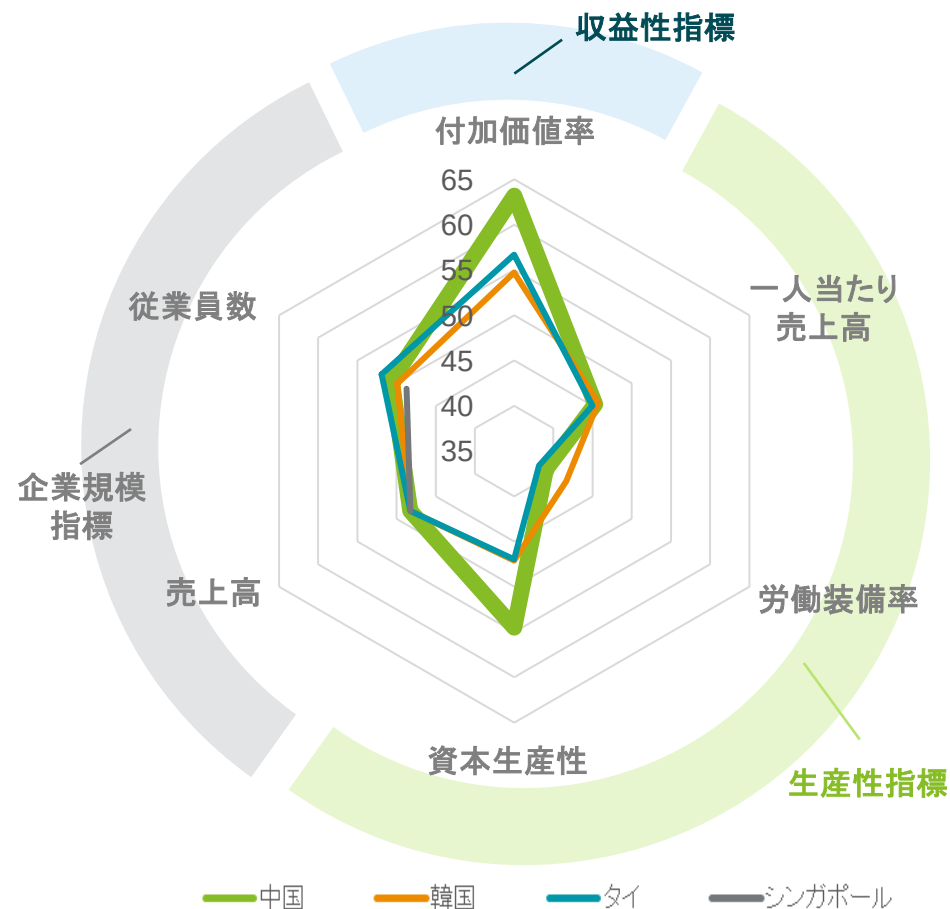
2.3 中国

2.3.1 食品加工業の生産性

中国の飲料メーカーは中小企業が多く、機械化は後れ、労働集約的である。資本生産性が高いように見えるが、労働集約的であることの裏返しと考える。総じて、タイに次いで生産性が低いとみられる。

飲料業界の主要指標

偏差値のレーダーチャート



— 中国 — 韓国 — タイ — シンガポール

出所: Capital IQをもとにDTFA作成

中国の飲料業界

売上高が4か国で最も小さく、企業規模の小さい会社がサンプルに多く含まれる。一方で、従業員数はタイに次いで2番目に多く、労働集約的と見られる。

生産性と収益性

資本生産性が4か国で最も高いが、機械が付加価値を生んでいるのではなく、相対的に機械の導入が後れていて人手が付加価値を形成しているために、「見た目」の上で資本生産性が高いものとする。労働設備率や1人当たり売上高はタイに次いで低い。資本生産性の高さが「見た目」上のものであることも踏まえると、タイよりは生産性が高いものの、韓国ほどではない。

付加価値率は4か国で最も高い。企業規模が小さく交渉力が弱いと推察されるなか、驚くべき数値である。消費者や流通との力関係など業界構造上の特徴が背景にあるものとする。

偏差値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働設備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
中国	63.2	45.4	39.1	54.5	48.2	50.6
韓国	54.7	45.7	41.7	47.1	48.2	49.9
タイ	56.7	45.0	38.2	46.9	48.2	51.9
シンガポール	#N/A	45.1	#N/A	#N/A	48.2	48.7

平均値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働設備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
日本	29.0%	80.0	20.4	1.06	34,956	573
中国	51.3%	7.3	1.6	1.77	104	772
韓国	37.0%	13.3	6.1	0.61	305	537
タイ	40.3%	1.9	0.1	0.58	231	1,204
シンガポール	#N/A	3.4	#N/A	#N/A	200	157

第2章 各国の経済・業界状況

2.3 中国

2.3.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ 非上場企業が多く財務情報が限定的(売上高のみ公表している)な企業が目立つ

中国のシェア上位3社と主要指標

業種	業界順位	企業名	シェア	海外売上比率	付加価値率(粗利率)	1人当たり売上高(百万円)	労働装備率(百万円)	資本生産性	粗利益(百万円)	売上高(百万円)	従業員数	有形固定資産額(百万円)
中国の食品の平均値			-	-	23%	6.7	0.16	0.78%	-	70.84	477	-
野菜缶詰・缶詰・農産保存食料品製造業	1	Dalian Zhenxin Canned Food Co Ltd	7%		-	-	-	-	-	-	-	-
	2	Tianyun International Holdings Ltd	7%	95.3%	28%	0.19	8.47	63%	36	132	685	58
	3	Dalian Leasun Food Co Ltd	5%		19%	0.10	1.03	179%	14	79	797	8
ソース製造業、食酢製造業	1	Foshan Haitian Flavouring & Food Ltd	7%		40%	0.51	8.85	231%	1,238	3,073	6,058	536
	2	Lee Kum Kee (Guangzhou) Food Co Ltd	3%		0%	0.03	-	-	-	82	3,264	-
	3	Guiyang Nanming Laoganma Flavouring Food Co Ltd	3%		0%	0.09	-	-	-	181	2,000	-
パン製造業	1	Fujian Dali Food Co Ltd	4%		0%	0.02	-	-	-	277	12,000	-
	2	Shenyang Toly Bread Co Ltd	4%		-	-	-	-	-	-	-	-
	3	Fujian Changting Panpan Foodstuff Co Ltd	2%		0%	0.01	-	-	-	8	1,100	-

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.3 中国

2.3.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ 非上場企業が多く財務情報が限定的(売上高のみ公表している)な企業が目立つ

中国のシェア上位3社と主要指標

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
中国の食品の平均値			-	-	23%	6.7	0.16	0.78%	-	70.84	477	-
めん類製造業	1	Tingyi (Cayman Islands) Holdings Corp	14%	100%	32%	0.15	5.33	91%	2,927	9,153	60,464	3,223
	2	Yihai Kerry Oils & Grains (China) Co Ltd	7%		-	-	-	-	-	30	300	-
	3	China National Cereals, Oils & Foodstuffs Imp & Exp Corp (COFCO)	5%		-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍調理食品製造業	1	Nestlé (China) Ltd	5%		-	-	-	-	-	282	43,985	-
	2	Guangdong Jiashili Group Co Ltd	3%		-	-	-	-	-	48	1,200	-
	3	Inner Mongolia Yili Industrial Group Co Ltd	3%		279%	0.08	6.09	384%	4,961	13,827	59,159	3,602

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.3 中国

2.3.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ 非上場企業が多く財務情報が限定的(売上高のみ公表している)な企業が目立つ

中国のシェア上位3社と主要指標

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
中国の飲料の平均値			-	-	51%	7.3	1.62	1.77%	-	104.42	773	-
清涼飲料製造業	1	Coca-Cola China Ltd	32%		-	-	-	-	-	1,671	23,438	-
	2	Tingyi (Cayman Islands) Holdings Corp	18%		32%	0.15	5.33	91%	2,927	9,153	60,464	3,223
	3	Beijing Genki Forest Beverage Co Ltd	8%		-	-	-	-	-	-	-	-
製茶業、コーヒー製 造業	1	Nestlé (China) Ltd	9%		-	-	-	-	-	282	43,985	-
	2	Xiangpiaopiao Food Co Ltd	5%		35%	0.12	4.67	87%	174	503	4,323	201
	3	Yunnan Taetea TeaIndustry Group Co Ltd	4%		-	-	-	-	-	-	-	-

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

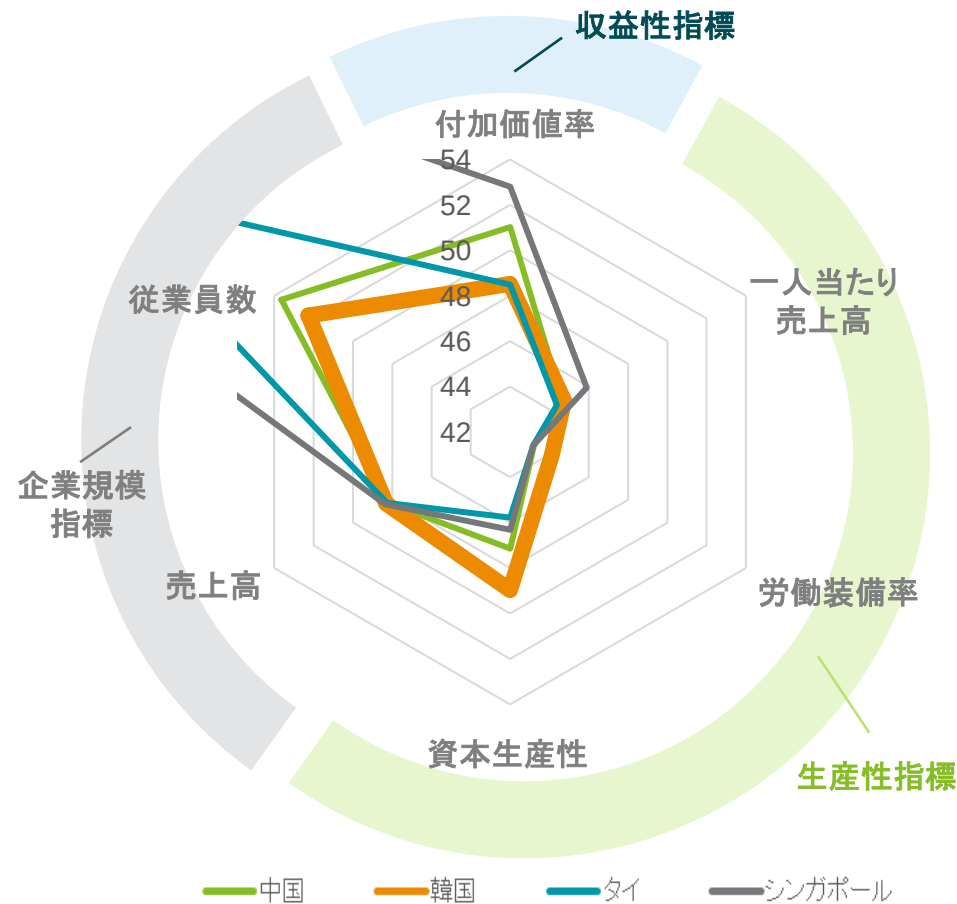
2.4 韓国

2.4.1 食品加工業の生産性

韓国の食品加工メーカーは企業規模が大きく、従業員数が少ないという日本企業と類似の傾向がみられる。生産性指標は総じて高いが付加価値率が低く、生産性の高さが付加価値に結び付けられていない。

食品加工業の主要指標

偏差値のレーダーチャート



韓国の食品加工業界

売上高が4か国でシンガポールに次いで大きく企業規模が大きいものの、従業員数は最も少ない。機械化が進み、日本と類似の傾向が見られる。

生産性と収益性

生産性は総じて高い。1人当たり売上高はシンガポールに次いで2位。ただし、シンガポールは労働装備率が異常に低く、1人当たり売上高が高いので、ヘッドクォーターなど統括的な機能であることが推察される。シンガポールが異常値であると捉えると、実質的に韓国が1位である。労働生産性と資本生産性は4か国で最も高い。付加価値率はタイとほぼ同じ値で、4か国で最低である。生産性の高さを付加価値に反映できていない。

偏差値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働装備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
中国	51.0	44.7	43.2	47.1	48.2	53.6
韓国	48.5	44.8	44.1	49.0	48.3	52.3
タイ	48.5	44.4	43.2	45.8	48.3	63.5
シンガポール	52.8	45.9	43.2	46.3	48.4	95.9

平均値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働装備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
日本	21.0%	89.1	16.7	1.43	7,621	146
中国	22.5%	6.7	0.2	0.78	71	477
韓国	18.9%	8.0	2.4	1.19	450	352
タイ	18.8%	2.2	0.1	0.47	204	1,372
シンガポール	25.1%	25.6	0.1	0.59	681	4,322

第2章 各国の経済・業界状況

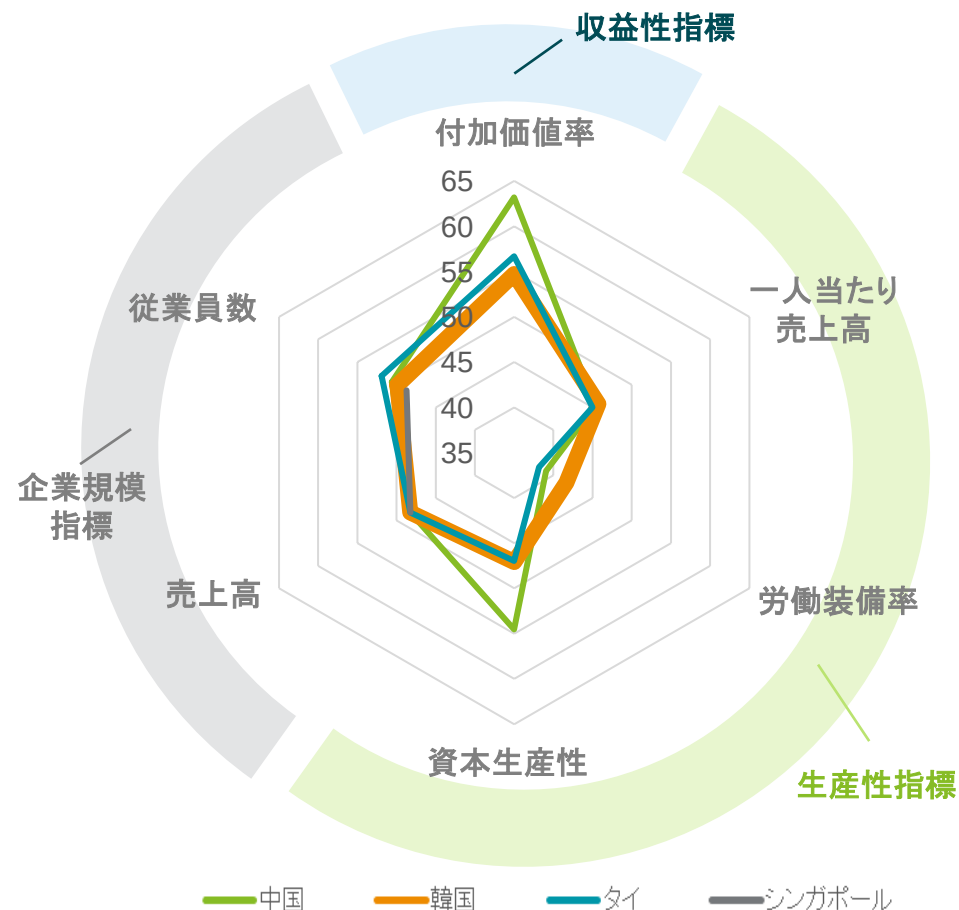
2.4 韓国

2.4.1 食品加工業の生産性

韓国の飲料メーカーは企業規模が大きく、従業員数が少ないという日本企業と類似の傾向がみられる。生産性指標は概ね高いが、資本生産性はさほど高くなく改善の余地がある。付加価値率は中国、タイよりも悪い。食品加工、飲料に共通して付加価値が低く、消費者や流通との力関係など業界構造上の特徴が背景にあるものとする。

飲料業界の主要指標

偏差値のレーダーチャート



出所: Capital IQをもとにDTFA作成

韓国の飲料業界

売上高が4か国で最も大きく、企業規模の大きい会社がサンプルに多く含まれる。一方で、従業員数はシンガポールに次いで2番目に少ない。日本と同様の傾向が見られる。

生産性と収益性

生産性は概ね高いが資本生産性に改善の余地がある。労働設備率が4か国で最も高く、機械化が進んでいる。その結果、1人当たり売上高も4か国で最も高い。資本生産性は中国について2位だが、タイとの差は小さい。付加価値率は中国、タイよりも悪い。食品加工、飲料に共通して付加価値が低く、消費者や流通との力関係など業界構造上の特徴が背景にあるものとする。

偏差値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働設備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
中国	63.2	45.4	39.1	54.5	48.2	50.6
韓国	54.7	45.7	41.7	47.1	48.2	49.9
タイ	56.7	45.0	38.2	46.9	48.2	51.9
シンガポール	#N/A	45.1	#N/A	#N/A	48.2	48.7

平均値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高(百万円)	労働設備率(百万円)	資本生産性	売上高(百万円)	従業員数
日本	29.0%	80.0	20.4	1.06	34,956	573
中国	51.3%	7.3	1.6	1.77	104	772
韓国	37.0%	13.3	6.1	0.61	305	537
タイ	40.3%	1.9	0.1	0.58	231	1,204
シンガポール	#N/A	3.4	#N/A	#N/A	200	157

第2章 各国の経済・業界状況

2.4 韓国

2.4.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ 韓国の場合は上位が上場企業が多いため、財務情報が他国と比べると揃っている企業が多い

韓国のシェア上位3社と主要指標

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
韓国の食品の平均値			-	-	19%	8.0	2.37	1.19%	-	449.51	352	-
野菜缶詰・缶詰・農 産保存食料品製造業	1	Dongwon F&B Co Ltd	16%		23%	0.84	18.65	103%	558	2,438	2,894	539
	2	E-Mart Inc	11%		-	-	-	-	-	-	-	-
	3	Dole Korea Ltd	8%		-	-	-	-	-	-	-	-
ソース製造業、食酢 製造業	1	CJ Cheiljedang Corp	25%	50.1%	22%	2.37	116.28	45%	4,129	18,637	7,856	9,134
	2	Daesang Corp	17%	68.8%	27%	0.50	15.19	89%	645	2,405	4,775	725
	3	Ottogi Foods Co Ltd	11%	90.4%	17%	0.69	33.21	34%	326	1,977	2,856	948

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.4 韓国

2.4.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ 韓国の場合は上位が上場企業が多いため、財務情報が他国と比べると揃っている企業が多い

韓国のシェア上位3社と主要指標

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
韓国の食品の平均値			-	-	19%	8.0	2.37	1.19%	-	449.51	352	-
パン製造業	1	SPC Samlip Co Ltd	7%	100%	16%	0.74	19.80	60%	324	2,015	2,710	536
	2	Orion Corp	4%	34.2%	41%	-	-	46%	699	1,716	-	1,524
	3	Lotte Confectionery Co Ltd	4		17%	0.68	23.77	48%	217	1,298	1,918	455
めん類製造業	1	Nong Shim Co Ltd	22%	70.3%	31%	0.41	21.32	59%	585	1,915	4,646	990
	2	National Agricultural Cooperative Federation	17%		-	-	-	-	-	-	-	-
	3	Ottogi Foods Co Ltd	16%	90.4%	17%	0.69	33.21	34%	326	1,977	2,856	948
冷凍調理食品製造業	1	Dongwon F&B Co Ltd	46%		23%	0.84	18.65	103%	558	2,438	2,894	539
	2	CJ Cheiljedang Corp	16%	50.1%	22%	2.37	116.28	45%	4,129	18,637	7,856	9,134
	3	Seoul Dairy Cooperative	11%		0%	0.70	-	-	-	1,362	1,959	-

第2章 各国の経済・業界状況

2.4 韓国

2.4.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ 韓国の場合は上位が上場企業が多いため、財務情報が他国と比べると揃っている企業が多い

韓国のシェア上位3社と主要指標

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
韓国の飲料の平均値			-	-	37%	13.3	6.07	0.61%	-	304.82	537	-
清涼飲料製造業	1	Coca-Cola Korea Co Ltd	31%		64%	2.69	9.26	1870%	121	189	70	6
	2	Lotte Chilsung Beverage Co Ltd	30%	86.1%	40%	0.33	28.05	47%	708	1,761	5,404	1,515
	3	Woongjin Food Co Ltd	4%		29%	0.67	8.91	219%	54	184	275	24
製茶業、コーヒー製造業	1	Dongsuh Foods Co Ltd	43%		41%	1.05	17.37	248%	481	1,170	1,117	194
	2	Nestlé Korea Ltd	12%		25%	0.30	6.50	116%	46	183	602	39
	3	Namyang Dairy Products Co Ltd	2%	100%	17%	0.34	15.29	37%	117	704	2,059	314

第2章 各国の経済・業界状況

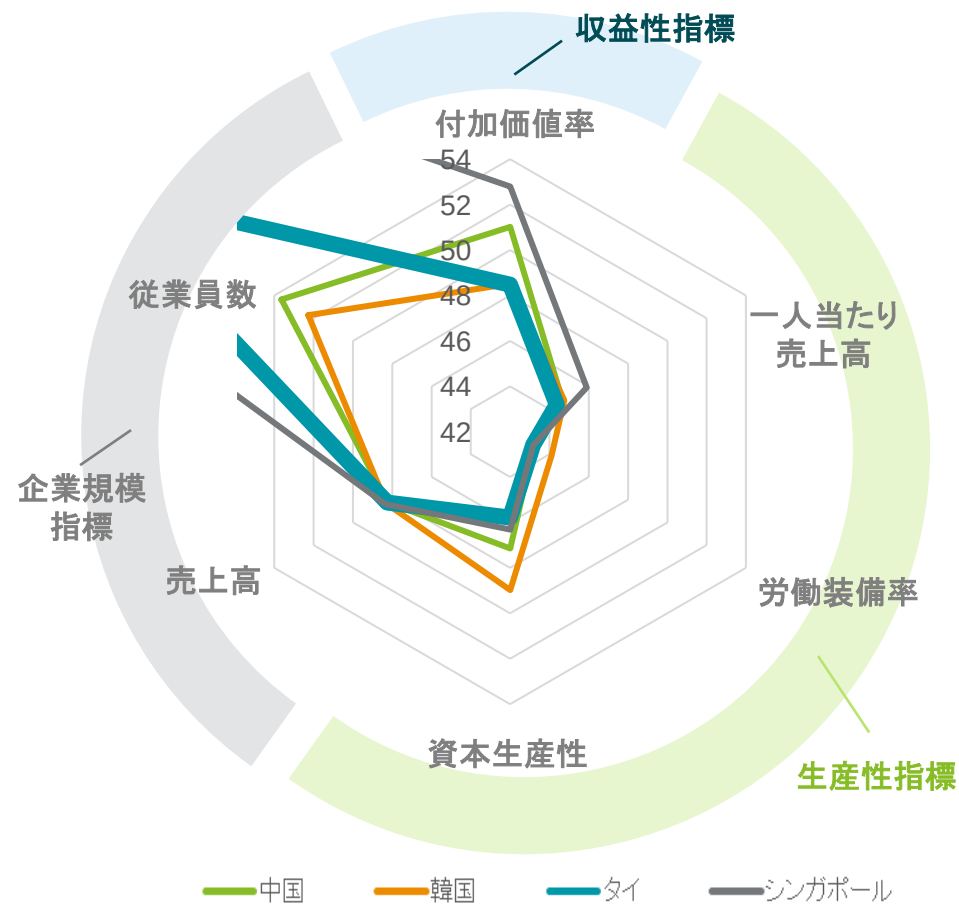
2.5 タイ

2.5.1 食品加工業の生産性

タイの食品加工メーカーは企業規模が小さい一方で、従業員数が多い。機械化が進まず労働集約の傾向がみられる。生産性指標は総じて低く、付加価値率も低い。付加価値率の低さは輸入商品と比べた競争力の低さも推察される。

食品加工業の主要指標

偏差値のレーダーチャート



タイの食品加工業界

売上高が4か国で中国に次いで小さく企業規模が小さいものの、従業員数はシンガポールに次いで多い。機械化が進まず労働集約の傾向がみられる。

生産性と収益性

生産性は総じて低い。1人当たり売上高は最も低く、資本生産性も最も低い。労働装備率はシンガポールよりも若干高いが、シンガポールがヘッドクォーター的な位置づけと推察され、労働装備率の比較が適切ではないことを踏まえると、実質的にタイが最も低いと言えよう。

付加価値率も4か国で最低である。企業規模が小さく、交渉力が弱いこと、海外からの輸入商品と比べて競争力が低いことが推察される。

偏差値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働装備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
中国	51.0	44.7	43.2	47.1	48.2	53.6
韓国	48.5	44.8	44.1	49.0	48.3	52.3
タイ	48.5	44.4	43.2	45.8	48.3	63.5
シンガポール	52.8	45.9	43.2	46.3	48.4	95.9

平均値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働装備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
日本	21.0%	89.1	16.7	1.43	7,621	146
中国	22.5%	6.7	0.2	0.78	71	477
韓国	18.9%	8.0	2.4	1.19	450	352
タイ	18.8%	2.2	0.1	0.47	204	1,372
シンガポール	25.1%	25.6	0.1	0.59	681	4,322

第2章 各国の経済・業界状況

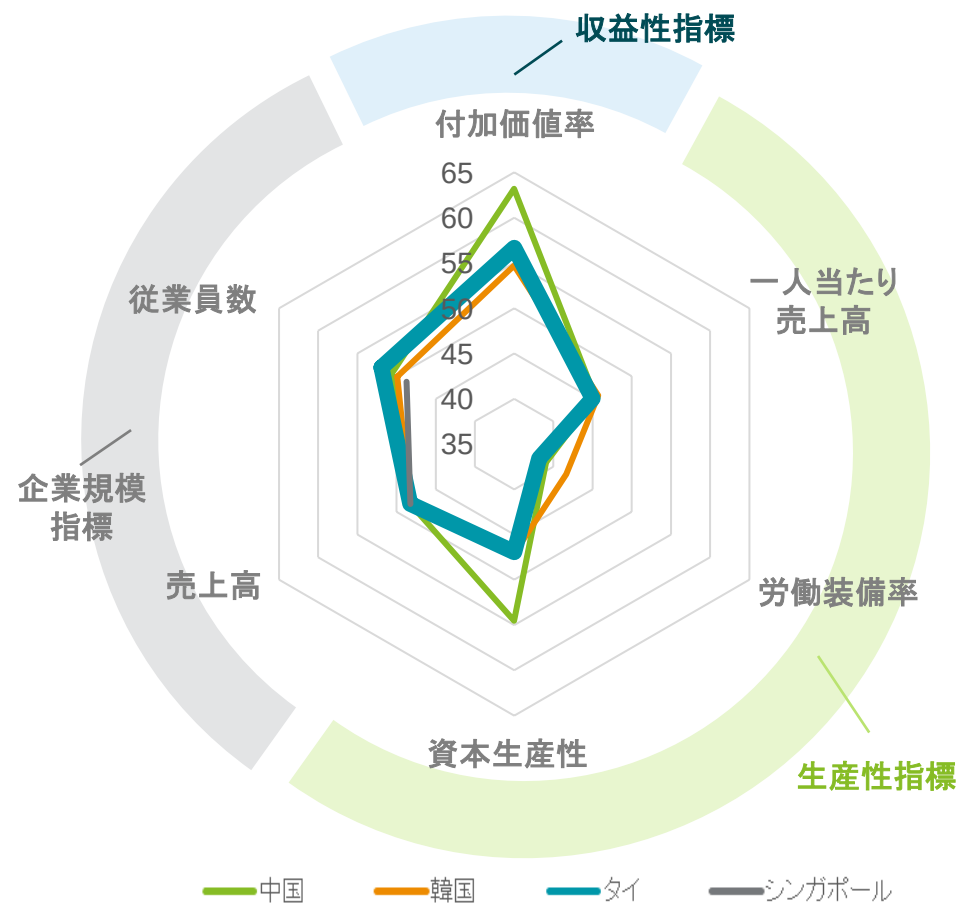
2.5 タイ

2.5.1 食品加工業の生産性

タイの飲料メーカーは企業規模が大きく、売上高は中国よりも大きい。従業員数も大きく、労働集約な状態である。生産性指標は3指標すべてで4か国で最も低く、中でも労働装備率の低さが顕著である。付加価値率は中国よりも低いものの、韓国よりも高く、生産性の低さとは対照を成している。

飲料業界の主要指標

偏差値のレーダーチャート



タイの飲料業界

売上高が4か国で韓国に次いで大きく、企業規模の大きい会社がサンプルに多く含まれる。従業員数は最も多く、労働装備率の低さからも、労働集約型の産業構造になっていると推察される。

生産性と収益性

生産性は総じて低く、労働装備率、一人当たり売上高、資本生産性のいずれも4か国で最も低い。特に労働装備率は2番目に低い中国と比べても10分の1以下と極めて低い。機械化が進んでいない状況が推察される。付加価値率は中国よりも低いものの、韓国よりも高い。タイの食品加工業界の生産性指標の低さとは対照を成している。

偏差値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働装備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
中国	63.2	45.4	39.1	54.5	48.2	50.6
韓国	54.7	45.7	41.7	47.1	48.2	49.9
タイ	56.7	45.0	38.2	46.9	48.2	51.9
シンガポール	#N/A	45.1	#N/A	#N/A	48.2	48.7

平均値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働装備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
日本	29.0%	80.0	20.4	1.06	34,956	573
中国	51.3%	7.3	1.6	1.77	104	772
韓国	37.0%	13.3	6.1	0.61	305	537
タイ	40.3%	1.9	0.1	0.58	231	1,204
シンガポール	#N/A	3.4	#N/A	#N/A	200	157

第2章 各国の経済・業界状況

2.5 タイ

2.5.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ タイの場合は上位が非上場企業が多いため、財務情報を得られた企業が少ない

タイのシェア上位3社と業界平均値①

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
タイの食品の平均値			-	-	18%	2.2	0.09	47%	-	203.62	1371	-
野菜缶詰・缶詰・農 産保存食料品製造業	1	Malee Sampran Plc	23%	-	18%	-	-	-	2,561	14,128	-	-
	2	Universal Food PCL	17%	-	26%	25	8.3	76%	1,862	7,285	294	2,454
	3	Talley's Frozen Foods Ltd	12%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソース製造業、食酢 製造業	1	Ajinomoto Sales (Thailand) Co Ltd	24%	-	23%	-	-	469%	28,232	122,938	-	6,020
	2	Unilever Thai Holdings Ltd	10%	-	12%	-	-	40%	8,799	75,979	-	22,025
	3	Pairroj (Tangsangha) Co Ltd	7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パン製造業	1	President Bakery PCL	19%	0%	48%	0	0.1	32%	86	181	2977	268
	2	CPRAM Co Ltd	16%	-	14%	-	-	23%	10,560	74,776	-	45,932
	3	S&P Syndicate PCL	3%	-	54%	-	-	204%	10,931	20,090	-	5,359

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.5 タイ

2.5.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ タイの場合は上位が非上場企業が多いため、財務情報を得られた企業が少ない

タイのシェア上位3社と業界平均値②

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
タイの食品の平均値			-	-	18%	2.2	0.09	47%	-	203.62	1371	-
めん類製造業	1	Thai President Foods Public Co Ltd	13%	21.1%	36%	0	0.2	34%	220	612	3824	647
	2	CP Intertrade Co Ltd	9%	-	9%	-	-	363%	5,452	58,077	-	1,501
	3	Thai Preserved Food Co Ltd	8%	-	25%	-	-	110%	6,379	25,768	-	5,799
冷凍調理食品製造業	1	Nestlé (Thai) Ltd	5%	-	34%	69	10.1	232%	65,235	193,910	2800	28,143
	2	Unilever Thai Holdings Ltd	3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	Friesland Campina (Thailand) PCL	3%	-	14%	-	-	70%	567	4,137	-	813

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.5 タイ

2.5.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ タイの場合は上位が非上場企業が多いため、財務情報を得られた企業が少ない

タイのシェア上位3社と業界平均値③

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
タイの飲料の平均値			-	-	40%	1.9	0.11	58%	-	230.84	1203	-
清涼飲料製造業	1	Coca-Cola (Thailand) Ltd	53%	-	6%	63	0.1	3282%	420	7,577	120	13
	2	Pepsi-Cola (Thai) Trading Co Ltd	20%	-	51%	28	12.1	120%	21,794	42,677	1500	18,138
	3	Serm Suk PCL	8%	0%	32%	0	0.1	14%	85	269	9527	593
製茶業、コーヒー製造業	1	Nestlé (Thai) Ltd	56%	-	34%	69	10.1	232%	65,235	193,910	2800	28,143
	2	Jacobs Douwe Egberts TH Ltd	8%	-	40%	-	-	8434%	8,936	22,366	-	106
	3	Super Coffeemix Mfg Pte Ltd	7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

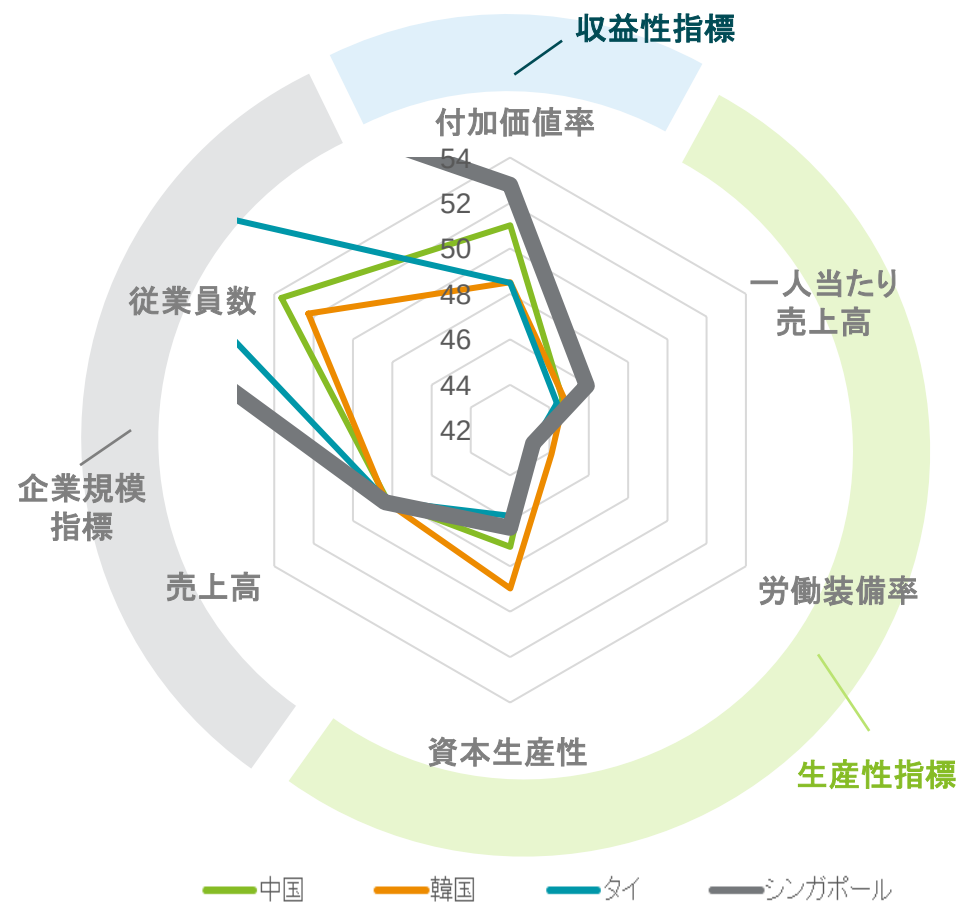
2.6 シンガポール

2.6.1 食品加工業の生産性

シンガポールの食品加工メーカーは、ヘッドクォーターなどバックオフィスの企業が多い可能性があり、4か国の比較として適切でない可能性がある。

食品加工業の主要指標

偏差値のレーダーチャート



シンガポールの食品加工業界

売上高が4か国で最も大きく企業規模が大きい。従業員数も最も多い。ヘッドクォーターなどバックオフィスの企業が多くサンプルに含まれている可能性がある。4か国の比較として、適切な対象となっていない可能性が高い。

生産性と収益性

前述のとおり、ヘッドクォーターなどバックオフィスの企業が多い可能性があることが随所に影響している。工場設備が相対的に少ないため、労働装備率はタイよりも低く4か国で最低となっている。1人当たり売上高が日本よりも低位であるのも、バックオフィスが多ければ売上が抑えられ、合理的な帰結であろう。そのため、資本生産性も韓国、中国に次いで3位と高くない。付加価値率は4か国で最高だが、これも製造部門が少ないために売上原価が抑えられていると考えられる。

偏差値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働装備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
中国	51.0	44.7	43.2	47.1	48.2	53.6
韓国	48.5	44.8	44.1	49.0	48.3	52.3
タイ	48.5	44.4	43.2	45.8	48.3	63.5
シンガポール	52.8	45.9	43.2	46.3	48.4	95.9

平均値

食品加工	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働装備率 (百万円)	資本生産性	売上高 (百万円)	従業員数
日本	21.0%	89.1	16.7	1.43	7,621	146
中国	22.5%	6.7	0.2	0.78	71	477
韓国	18.9%	8.0	2.4	1.19	450	352
タイ	18.8%	2.2	0.1	0.47	204	1,372
シンガポール	25.1%	25.6	0.1	0.59	681	4,322

第2章 各国の経済・業界状況

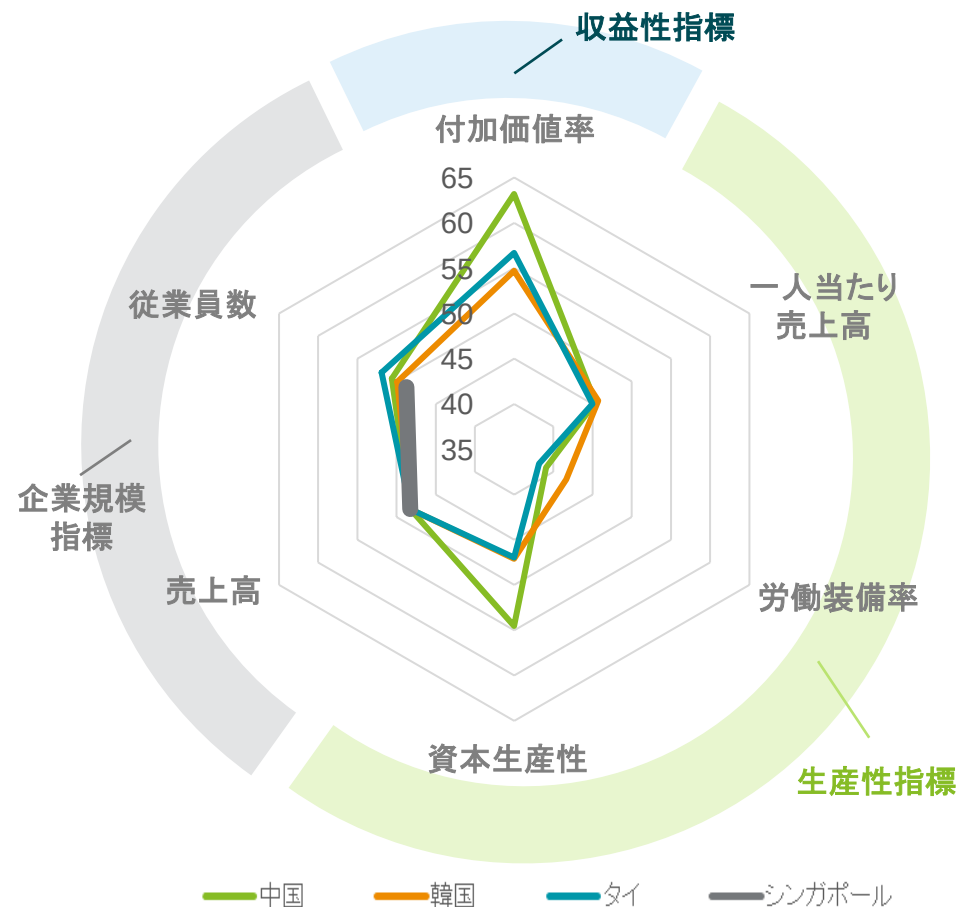
2.6 シンガポール

2.6.1 食品加工業の生産性

シンガポールの飲料メーカーは母集団として企業数が6社しか含まれず、企業規模が小さい会社が多い。さらに財務データが非開示の企業が多く、生産性指標も計算できない。4か国比較の対象として適切でないと考える。

飲料業界の主要指標

偏差値のレーダーチャート



シンガポールの飲料業界

売上高が4か国で中国に次いで小さく、企業規模の小さい会社が多い。従業員数も少ない。そもそも母集団として企業数が6社しか含まれておらず、4か国比較の対象として適切でないと考える。

生産性と収益性

売上総利益や有形固定資産などのデータが非開示であるため、生産性指標が計算できない。1人当たり売上高はタイに次いで低い。いずれもサンプルの偏りに起因するもので、4か国比較の対象として適切でないと考える。

偏差値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	売上高 (百万円)	従業員数
中国	63.2	45.4	39.1	54.5	48.2	50.6
韓国	54.7	45.7	41.7	47.1	48.2	49.9
タイ	56.7	45.0	38.2	46.9	48.2	51.9
シンガポール	#N/A	45.1	#N/A	#N/A	48.2	48.7

平均値

飲料	付加価値率	1人当たり売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	売上高 (百万円)	従業員数
日本	29.0%	80.0	20.4	1.06	34,956	573
中国	51.3%	7.3	1.6	1.77	104	772
韓国	37.0%	13.3	6.1	0.61	305	537
タイ	40.3%	1.9	0.1	0.58	231	1,204
シンガポール	#N/A	3.4	#N/A	#N/A	200	157

第2章 各国の経済・業界状況

2.6 シンガポール

2.6.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ シンガポールの場合は上位が非上場企業が多いため、財務情報を得られた企業が少ない

シンガポールのシェア上位3社と業界平均値①

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
シンガポールの食品の平均値			-	-	25%	25	0.08	59%	-	681	4,322	-
野菜缶詰・缶詰・農 産保存食料品製造業	1	Goh Joo Hin Pte Ltd	14%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	Ben Foods (S) Pte Ltd	13%	-	-	-	-	-	-	8,961	-	-
	3	Hock Seng Food Pte Ltd	11%	-	19%	66	18.1	69%	870	4,647	70	1,269
ソース製造業、食酢 製造業	1	Who Hup Food Industry Pte Ltd	9%	-	-	-	-	-	-	539	-	3
	2	Lee Kum Kee Co Ltd	9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	Nestle Singapore Pte Ltd	6%	-	42%	-	-	471%	16,608	39,114	-	3,530
パン製造業	1	Gardenia Foods (S) Pte Ltd	22%	-	-	128	28.1	-	-	7,452	58	1,630
	2	Auric Pacific Group Ltd	11%	-	43%	22	24.4	39%	1,904	4,445	200	4,882
	3	Mission Foods South Asia Pte Ltd	2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.6 シンガポール

2.6.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ シンガポールの場合は上位が非上場企業が多いため、財務情報を得られた企業が少ない

シンガポールのシェア上位3社と業界平均値②

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
シンガポールの食品の平均値			-	-	25%	25	0.08	59%	-	681	4,322	-
めん類製造業	1	Tong Seng Produce Pte Ltd	17%	-	50%	-	-	441%	1,904	3,830	-	432
	2	Hanwell Holdings Ltd	17%	-	28%	-	-	81%	11	41	-	14
	3	NTUC Fair Price Co-operative Pte Ltd	13%	-	-	-	-	-	-	304	-	-
冷凍調理食品製造業	1	Nestle Singapore Pte Ltd	4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	Kraft Foods (S) Pte Ltd	3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	NTUC Fair Price Co-operative Pte Ltd	3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出

第2章 各国の経済・業界状況

2.6 シンガポール

2.6.2 代表ブランド

- ・ シェア情報が得られた21社(7業種×上位3社)について記載する
- ・ シンガポールの場合は上位が非上場企業が多いため、財務情報を得られた企業が少ない

シンガポールのシェア上位3社と業界平均値③

業種	業界 順位	企業名	シェア	海外売上 比率	付加 価値率 (粗利率)	1人当たり 売上高 (百万円)	労働 装備率 (百万円)	資本 生産性	粗利益 (百万円)	売上高 (百万円)	従業員数	有形固定 資産額 (百万円)
シンガポールの飲料の平均値			-	-	-	3.4	-	-	-	199	156	-
清涼飲料製造業	1	Coca-Cola Singapore Beverages Pte Ltd	45%	-	39%	163	50	128%	4,973	12,749	78	3,871
	2	F&N Foods (S) Pte Ltd	21%	-	25%	84	7	289%	5,212	20,489	245	1,801
	3	Malaysia Dairy Industries Pte Ltd	12%	-	36%	48	17	102%	13,553	38,101	800	13,269
製茶業、コーヒー製造業	1	Pokka Corp (S) Pte Ltd	47%	-	-	0	-	-	-	15	170	-
	2	Nestle Singapore Pte Ltd	34%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	Meng Chong Foodstuffs Pte Ltd	6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:シェアはEuromonitor,従業員数及び海外売上比率はCapital IQ,その他データはSpeeda、Orbis、Capital IQのデータを使用し算出